

本会議

3月4日の本会議では、平成28年度一般会計予算を除く、条例案や特別・企業会計予算等について審議され、各議員から活発な質疑が行われました。ここでは、その一部について掲載致します。

平成28年度国民健康保険特別会計予算

質問 国保運営の見通しと、被保険者への影響は？

答弁 平成28年度について、前年度と比較し、被保険者減少のため、国保税収入は約6,000万円の減収となるが見込まれる。一方で、国保医療費については、高齢化により1人当たりの医療費が増加しており、保険給付費の総額は前年度と同規模である。平成30年度からの国保の広域化に向け、28年度は今後3カ年にわたる第2期計画を策定し国保運営の安定化に努める。被保険者への影響については、繰入金等の確保により減収分を補い、国保税率は据え置くこととし、被保険者の税負担を抑制する。

市内インフラ関連企業の活性化に関する請願書 全会一致で採択

市内のインフラ関連企業から提出されていた請願については、慎重に審議され、全会一致で可決されました。概要は次の通りです。

市の公共工事で発生するアスファルトなどの再生可能な資材等について、市外に流出している例もあり、土木業者の資材調達等にも支障をきたしているため、市内業者での処分・再生に配慮するよう求めるもの。

予算常任委員会

3月4日、14日、15日の3日間にわたって予算常任委員会が開催されました。本会議から付託になった、平成28年度一般会計予算と平成27年度一般会計補正予算について慎重に審査されました。委員からは主要な予算について、様々な角度から質疑が行われました。

クニマス未来館建設 時期尚早では

質問 県との協働プログラムにより「クニマス未来館」を建設するとしているが、山梨県からのクニマス借り受けも未確定で、養殖技術も確立されておらず、時期尚早ではないか？

答弁 クニマス未来館は、クニマスの里帰りのみならず、田沢湖再生の活動拠点施設としての役割もある。クニマスの卵、稚魚については、昨年来、山梨県、富士河口湖町等に対し要望もしており、確約が得られたものではないが、前向きな返事を頂いている。県と協働で取り組みたい。

待機児童の現状と支援はいかに

質問 新年度の保育所の申込みは既に始まっているが、待機児童の状況は？また、発生時のサポート体制は？

答弁 現在の見込みで、年度当初の待機者は5人（全てゼロ歳児）である。職員の配置等を調整し、年度スタート時点で待機者ゼロの状況を作りたい。発生時の支援体制として、10月、田沢湖地区で家庭的保育室が開設（県内初）された。現在、2人を保育しているが、新年度も研修等を開催し、新たな家庭的保育室が開設できるよう支援する。

誕生祝支給事業 この内容で本当に良いのか

質問 28年度から新生児に3,000円相当の誕生祝い品を贈るとし、約50万円の予算を計上しているが、果たしてこれで出生率が上がるのか？全くインパクトに欠ける。

答弁 この事業事態は、子供を増やしていこうという趣旨ではなく、仙北市に生まれて来たことに対する、お祝いの気持ちを伝えるためのものである。今後の様々な子育て支援メニューの第1段階として、イントロダクション的な思いでスタートしようとの考えでこの金額と予算とした。

住宅新築助成 市内在住者も対象にするべき

会派代表
質疑

質問 28年度からの住宅新築助成。対象を移住者のみとしているが、市内若者も対象にし、定住促進と経済対策を図るべき。

答弁 人口流出については、18～23歳までの進学、就職によるものの他、その上の、24～39歳までの流出も多い。この世代の流出を抑えられれば、人口減少抑制に一層効果的である。指摘の通り、市内の若い世代に対する支援について全く異論はなく、今回の制度内容を変更し、移住者に限らず、市内在住の若者についても対象としたい。

反対 討論

～このような反対意見がありました～

クニマス未来館建設事業費3億8,578万円は、クニマスのふ化・飼育に十分な技術が確立しない中で時期尚早であり、山梨県が確保している受精卵や稚魚、成魚等も絶滅に追い込む危険性さえある。従って一時、凍結すべきと考え一般会計予算に反対する。

採決の結果「平成28年度一般会計予算」賛成多数で可決